

住江織物グループの技術や製品には、こんなへえ〜!な一面が

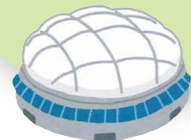
住江織物グループの技術や製品は130年以上の歴史を重ねてきた中で多岐にわたります。
 お客様のご要望にお応えし、また環境負荷を考慮した製品づくりを行う中で、あまり知られていない様々な実績を積み重ねてまいりました。

環境への貢献

インテリア

ECOS®バックリングをご採用いただくと、杉の木の吸収量に換算して年間約**41**万本分のCO₂を削減

杉の木41万本分とは、面積にすると、東京ドーム約**75**個分



ECOS®(LXシリーズ)

【解説】

【ECOS®の年間CO₂吸収量】

LXシリーズ ECOS®バックリングをご採用いただいた場合、PVCバックリングと比較して年間で杉の木約41万本のCO₂を吸収します。41万本の杉林の面積を東京ドーム(4.7ヘクタール)で換算すると約75個分に相当します。この計算はLXシリーズの生産で生じたGHG(温室効果ガス)排出量を杉の木のCO₂吸収量で除した数字です。

住江テクノ(株)

スミトロン®1kgあたり、ペットボトル約**19**本をリサイクル



リサイクル繊維「スミトロン®」

【解説】

【スミトロン®1kgあたり、ペットボトル約19本をリサイクル】

わたしたちがスミトロン®をつくる時、使用済みペットボトルから再生したチップを50%とポリエステルピュアチップを50%使用します。ペットボトル(500ml)1本当り再生チップは26g出来るため、スミトロン®1kgあたり、ペットボトル(500ml)約19本をリサイクルしていることとなります。ペットボトルを繊維としてよみがえらせ、カーペットやカーテンの素材として用いることで、環境負荷の低減やごみの削減に貢献しています。

インテリア

1年間に廃棄されるタイルカーペットの約**12%**を再生利用



廃棄されたタイルカーペット

新しいタイルカーペット (ECOS® iD-4100)

【解説】

【1年間に廃棄されるタイルカーペットの12%を再生利用】

廃棄されたタイルカーペットは専門の業者によってリサイクルされ、新しいタイルカーペットを製造するときの材料の一部として再利用されます。これが「水平循環型リサイクルタイルカーペット」と言われる理由です。それでは、国内で廃棄されたタイルカーペット(自社製品以外も含む)のうち、わたしたちはどのくらいの量を再生利用しているのでしょうか。新しいタイルカーペットをつくる時に使用するリサイクルパウダー※の使用量と日本のタイルカーペットのリニューアル市場規模(廃棄されたタイルカーペットと同等と見て)で計算したところ、再生利用率は約12%となりました。

※リサイクルパウダー：使用済みタイルカーペットから合成樹脂素材を高効率で取り出した、再生ポリ塩化ビニル化合物。

機能資材

再生PET **90%**以上を使用した不織布の製造



原綿

ホットカーペット

【解説】

【再生PET90%以上を使用した不織布の製造】

蘇州住江織物有限公司(中国)ではホットカーペットの本体(ヒーター)およびその主要部材である不織布を製造しています。不織布の原料には再生PETを使用しており、その使用比率は90%以上です。環境に配慮した製品づくりを行っております。